

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター古賀



○事業所名	COMPASS発達支援センター古賀		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 12日	～	令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 52	(回答者数)	52
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日	～	令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	ご利用者様が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	職員が保護者様やご家族とのお話を行う時間を十分に確保しております。	普段からの家族支援や半年に一度の個別支援計画に係るモニタリングなどで、十分に保護者様や児童からお話をお聞きして今後の療育の方針や内容、達成すべき課題などを一緒に考えています。また利用開始時は保護者様の不安な点や法制などの細かい疑問点に出来る限りお答えし、安心してご利用できるようにしております。	利用児童本人や保護者様からのご要望に常に耳を傾け、今後も利用児童の成長のためにともに考えていけるよう努めてまいります。
3	利用中の児童の体調不良や相談事について、保護者様への連絡を密に迅速におこなっております。	保護者様の不安の軽減や早急な対応、迅速な問題解決のために利用中の児童についての相談事があれば、直ちに保護者様にご連絡を行い状況を確認しお伝えし、相談したり指示を仰いでおります。	今後も安心してご利用いただけるよう、些細なことや当事業所で解決できることであっても保護者様に正しく状況をお伝えし、重大な事態に繋がる前にご相談をおこなってまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、利用中の児童の様子や各種避難訓練などは口頭や文章、月に一度の子どもカレンダーでお伝えしておりますが、保護者様にとって分かりにくい点があるとお声が聞かれています。	感染症の流行により事業所内見学が中断していたが、現在は事前にご連絡いただければ療育中の様子なども見学可能となっている。その点の周知が出来ていないと思われる。	保護者様への事業所内見学のお知らせについて周知をおこなってまいります。個人情報保護の観点から、ご家族のどの範囲まで見学が可能かについて見直しをおこなってまいります。
2	現在、児童の利用中の様子や成長面・課題については送迎時やお迎え時に口頭でお伝えするとともに、文書や紙面にて成長療育支援システム内の連絡機能を用いてお知らせをおこなっておりますが、職員のPC操作や文章作成能力により迅速なご連絡が遅れる傾向が見られます。	療育後のお送りあとの文章作成になるため、時間的な制約が出来てしまう。また端末機器の台数により全ての職員が直ちに記入できない状況である。	連絡記入の担当を日により決めて、早急な記入をおこなっていく。また口頭での連絡をこれまで以上に詳細に行い、その日の利用についての保護者様の疑問点を解決していく。
3	保護者会実施について保護者様のご意向の確認をおこない、必要に応じて実施を計画してまいります。また、ペアレントトレーニングなどの保護者様向けの研修会については、職員が外部研修などに参加し技術の習得に努め、実施してまいります。	保護者会やペアレントトレーニングについて、「見た事が無い」「やった事が無い」といった職員の経験不足が原因としてあげられる。	保護者会実施についての保護者様のご意向の確認をおこない、必要に応じて実施を計画していく。またペアレントトレーニングなどの保護者様向けの研修会については、職員が外部研修などに参加して技術獲得をおこない、実施していく。



公表日：令和8年3月30日